

令和5年度 国語科 年間指導計画 第4学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	単元名	時数	単元の目標	他教科等との関連
前期	4	もしも、どうしたい	2	互いの考えに関心を持ち、共通点や相違点に着目しながらやりとりを続けることができる。	
		グループにまとめて整理しよう	2	集めた材料を共通な性質に基づいて分類して、整理することができる。	
		○想像したことを音読で表そう「こわれた千の楽器」	10	人物の様子や気持ちの変化に注意しながら想像を広げ、想像したことを音読で表すことができる。	
		図書館へ行こう	2	図書館の本の分類について理解を深めることができる。	
		漢字辞典の使い方	2	漢字辞典の仕組みと三種類の索引の使い方を知り、漢字の学習に活用することができる。	
	5	○説明のまとまりを見つけてよう「ヤドカリとイソギンチャク」	10	段落相互の関係について理解し、文章の構成を捉えることができる。	理科
		たしかめながら話を聞こう	5	聞きたいことを中心に考えて聞き、必要なことをよく知るために質問をして、自分の考えを持つことができる。	社会
		みんなで新聞を作ろう	10	知らせたいことが明確に伝わるように記事を書き、見出しや割り付けを考えて、読み手の興味をひく新聞を作ることができる。	新聞
	6	○人物の変化をとらえよう「走れ」	10	中心人物の気持ちの変化とその理由について考えて読むことができる。	
		お願いやお礼の手紙を書こう	5	相手や目的に応じて書く事柄や言葉の使い方を考え、手紙の形式に気をつけて、お願いやお礼の手紙を書くことができる。	社会、総合
		ことわざと故事成語	4	ことわざや故事成語について意味や使い方を理解して使うことができる。	意味調べ
	7	○表し方のちがいを考えよう「広告を読みくらべよう」	8	同じ商品の二つの広告を読み比べて、目的や意図に応じた表現の工夫や効果の違いを読み取ることができる。	
		ローマ字の書き方	2	ローマ字による日本語の音の表し方や二通りの書き方を理解し、ローマ字で書かれた単語を読んだり、身の回りの単語をローマ字で書いてみるができる。	
		本は友達	2	読書の楽しさを知り、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。	
9	○詩を読もう「ふしぎ」「よかったなあ」	2	詩に描かれた情景について想像を広げながら、詩を音読することができる。		
	学校についてしょうかいすることを考えよう	7	話し合いの目的を理解して、司会者・提案者・参加者などの役割を果たしながら話し合い、結論をまとめることができる。		
	○物語の題名の意味を考えよう「一つの花」	11	物語の題名の意味について、物語の中の叙述と結び付けて具体的に考えることができる。		
	文の組み立てと修飾語	3	主語、述語、修飾語それぞれの働きを理解し、文の構成を捉えることができる。		
後期	10	山場のある物語を書こう	8	始まりの場面と終わりの場面の絵を見て、山場で起こる変化を想像し、構成を工夫して物語を書くことができる。	
		○くらしの中の「和」と「洋」について調べよう「くらしの中の和と洋」	15	何をどのように比べているかを読み取り、比較の仕方を意識して、調べたことをまとめることができる。	社会、理科
	11	聞いてほしいな、心に残っている出来事	6	自分が感じたことが聞き手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話すことができる。	
		つなぐ言葉の働き	2	接続する語句の働きを理解して正しく使うことができる。	
	11・12	○読んで考えたことを伝え合おう「ごんぎつね」	13	中心人物とほかの人物との関わりについて考え、感想を伝え合うことができる。	
	12	「ふるさとの食」を伝えよう	9	地域に伝わる料理や特産品の良さが読み手に伝わるように、自分が考える良さやそれを支える理由や事例との関係を明確にして文章を書くことができる。	社会
		じゅく語の意味を考える	3	二字熟語の構成について理解し、文や文章の中で使うことができる。	
		本をみんなにすすめよう	4	本を読んで感じたり考えたりしたその本の魅力や良さを友達に伝えることができる。	
	1	百人一首の世界	3	短歌を音読して言葉の響きやリズムを感じ取ったりかたる遊びをしたりしながら、伝統的な文化を楽しむ。	
		言葉で考えを伝える	7	自分の考えを相手に伝えるために大切なことを確かめ、文章を書くことに生かすことができる。	
1・2	○日本語の数え方について考えよう「数え方を生みだそう」	10	筆者の考えを読み取り、日本語の数え方に対する自分の考えをまとめることができる。		
2	調べたことをほうこくしよう	10	アンケートの結果について、分かりやすく伝えるために、話の構成を考え、話し方を工夫して話すことができる。	社会、理科、総合	
	同じ読み方の漢字	3	漢字にはそれぞれ意味があることを理解し、同音・同訓の漢字を正しく使い分けることができる。		
2・3	○読んで感じたことを伝え合おう「世界一美しいほくの村」	13	物語の結末について感じたことを伝え合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。		
3	「言葉のタイムカプセル」を残そう	7	1年間に書いた文章を読み返し、文章を書く学習を通じた自分の成長を振り返るとともに、学習したことを生かして、十年後の自分に伝えたいことを手紙に書くことができる。		
年間授業時数			210		